

国立健康危機管理研究機構寄附受入規程

国立健康危機管理研究機構寄附受入規程

(目的)

第1条 この規程は、国立健康危機管理研究機構（以下「機構」という。）が受ける寄附金品の会計経理について適正を期することを目的とする。

(寄附受入の原則)

第2条 機構は、国立健康危機管理研究機構法（平成5年法律第46号）第23条各号に規定する業務に対する寄附に限り、これを受けることができる。

2 寄附金品は、理事長において受領するものとする。

(寄附受入の条件)

第3条 機構は、寄附をしようとする者が次の各号に掲げる条件を付したときは、寄附を受け入れることができない。

- 一 寄附により取得した財産を無償で寄附者に譲与または貸与すること
 - 二 寄附による研究の結果得られた知的財産等を寄附者に譲渡し、または使用させること
 - 三 寄附金品の使用について、寄附者がその会計を検査すること
 - 四 前各号に掲げるもののほか、寄附をしようとする者が機構に対してその他の反対給付を求めること
 - 五 寄附の申込み後に、寄附者の意思により、寄附金等の全部または一部を取り消すことができるもの
- 2 前項に掲げるもののほか、次の各号に掲げるものは受け入れてはならない。
- 一 寄附金品の受け入れに伴い、機構の経費支出が著しく増大するおそれのあるもの
 - 二 反社会的勢力からのもの
 - 三 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号）第32条第1項各号に掲げる者からのもの
 - 四 寄附をしようとする者の社会的な立場や信用に問題のあるもの
 - 五 その他理事長が適当でないと認めるもの

(役職員個人への寄附の取扱)

第4条 機構の役職員は、機構の業務に関連したものについては、個人的に寄附を受領してはならない。

2 該当する寄附を受領する場合は、当該寄附を機構への寄附として受入処理をしなければならない。

(外部資金受入審査会)

第5条 寄附受入れの決定は理事長が行う。

- 2 理事長は、1, 000万円を超える寄附（寄附が物品である場合は、寄附書を受領した時点の時価とする。）受入れについては、外部資金受入審査会（以下「審査会」という。）の審査を経て受入れを決定するものとする。
- 3 審査会について必要な事項は別に定める。

（寄附の受入）

第6条 寄附の受入は、様式1に定める寄附書により寄附を受けるものとする。

- 2 第3条に定める条件に該当するときは、理事長に報告するものとする。また、寄附の受入に適当でないと認めたときは、様式2に定める寄附辞退書を寄附者に送付するものとする。

（寄附の受領）

第7条 理事長は、寄附金を受領したときは、寄附者に対し様式3に定める寄附金領収書を送付するものとする。ただし、寄附が物品等である場合は様式3-2に定める寄附受領書を送付するものとする。

- 2 寄附が目的を指定したものである場合は、様式4に定める寄附金別金銭受払簿を備え、その受払いを記録するものとする。
- 3 寄附金等が目的を指定しないものである場合は、機構は当該寄附金等を機構の業務運営の費用として使用するものとする。
- 4 寄附金は、専用の銀行口座を設けて管理するものとする。

（管理費の控除）

第8条 機構は、納入された寄附金が第7条第2項に係るものである場合は、寄附金の額の20%の管理費を徴収するものとする。ただし、寄附金の額が10万円未満である場合は、10%の管理費を徴収するものとする。

- 2 前項の規定は、理事長が別に定めた場合は適用しない。

（寄附の使用）

第9条 寄附金品は、寄附の目的に従い適切に使用しなければならない。

- 2 受け入れた寄附金が第7条第3項に係るものである場合は、寄附金を受領した当該年度及び翌年度に限り使用を認めるものとする。

（寄附金の目的の変更）

第10条 目的を指定した寄附金について、次の各号の一に該当する場合は、目的を他の研究等に変更することができる。

- 一 寄附金が使途に沿って使用できないこととなった場合に、研究者等が様式5に定める寄附金使途・目的変更同意依頼書により寄附者の同意を得たうえで、様式6に定める寄附金使途・目的変更承認申請書により理事長の承認を得た場合
- 二 1万円未満となった寄附金の残高

（寄附者への報告）

第11条 寄附金を使用した研究が終了したときは、概ね1か月以内に様式7に定める研究結果概要報告書により、寄附者へ報告するものとする。ただし、寄附者の都合により報告が不要の場合はこの限りではない。

（クラウドファンディング）

第12条 クラウドファンディングを利用した寄附については理事長が別に定める。

（その他）

第13条 寄附金品に係る会計経理については、この規程に定めるもののほか、国立健康危機管理研究機構会計規程（令和7年規程第77号）その他機構の関係諸規程の定めるところによる。

附 則

（施行期日）

この規程は、令和7年4月1日から施行する。

令和 年 月 日

郵便番号

住所

氏名

電話番号

(法人にあっては法人名、職名、氏名)

寄 附 の 申 込 み に つ い て

国立健康危機管理研究機構(JIHS)に寄附を行います。

1. 寄附金品の目的(チェック等をお願いします)

① ☐ 機構全体の業務に役立てるため

以下の目的に沿って頂戴した寄附金を使用いたします。

- ・新興再興感染症、災害等の健康危機に対する整備・公衆衛生機能強化等への支援
- ・先進的な医療・研究への支援(治療法・治療薬開発等)
- ・国内外を問わない人材育成・教育等への支援

※上記のほか JIHS の目的の達成に必要な事業に使用する場合がございます。

② ☐ 戸山本部キャンパス(西)の業務に役立てるため

- ☐ 国立国際医療センター ☐ 国立国際医療研究所
☐ 臨床研究センター ☐ 国際医療協力局

② ☐ 上記にない診療科・医師名・研究室名・研究者名・研究テーマなどを寄附先として希望される場合は、以下に具体的な目的をご記入ください

[]

⇒②を選択された方へ

②で記載された内容が、研究目的の寄附の場合、成果及び使途の概要を、報告書にして送付しております。

報告書の送付が不要の場合は下記にチェックをお願いします。

- ☐ 研究概要報告書の送付は不要です。

2. 寄附金品の名称、数量及び価格(金銭にあっては金額)

3. 寄附のご予定日 令和 年 月 日

4. 寄附の方法

5. 寄附者のご芳名の公表(院内掲示等) ☐ 可 ・ ☐ 否

6. その他(自由記載)

令和 年 月 日

郵便番号

住所

氏名

電話番号

(法人にあっては法人名、職名、氏名)

寄 附 の 申 込 み に つ い て

国立健康危機管理研究機構 (JIHS) に寄附を行います。

1. 寄附金品の目的 (チェック等をお願いします)

① ☐ 機構全体の業務に役立てるため

以下の目的に沿って頂戴した寄附金を使用いたします。

- ・新興再興感染症、災害等の健康危機に対する整備・公衆衛生機能強化等への支援
- ・先進的な医療・研究への支援 (治療法・治療薬開発等)
- ・国内外を問わない人材育成・教育等への支援

※上記のほか JIHS の目的の達成に必要な事業に使用する場合がございます。

② ☐ 国府台キャンパスの業務に役立てるため

- ☐ 国立国府台医療センター ☐ 肝炎・免疫研究センター

③ ☐ 上記にない診療科・医師名・研究室名・研究者名・研究テーマなどを寄附先として希望される場合は、以下に具体的な目的をご記入ください

[]

⇒③を選択された方へ

②で記載された内容が、研究目的の寄附の場合、成果及び使途の概要を、報告書にして送付しております。

報告書の送付が不要の場合は下記にチェックをお願いします。

- ☐ 研究概要報告書の送付は不要です。

2. 寄附金品の名称、数量及び価格 (金銭にあっては金額)

3. 寄附のご予定日 令和 年 月 日

4. 寄附の方法

5. 寄附者のご芳名の公表 (院内掲示等) ☐ 可 ・ ☐ 否

6. その他 (自由記載)

令和 年 月 日

郵便番号

住所

氏名

電話番号

（法人にあっては法人名、職名、氏名）

寄 附 の 申 込 み に つ い て

国立健康危機管理研究機構（JIHS）に寄附を行います。

1. 寄附金品の目的（チェック等をお願いします）

① ☐ 機構全体の業務に役立てるため

以下の目的に沿って頂戴した寄附金を使用いたします。

- ・新興再興感染症、災害等の健康危機に対する整備・公衆衛生機能強化等への支援
- ・先進的な医療・研究への支援（治療法・治療薬開発等）
- ・国内外を問わない人材育成・教育等への支援

※上記のほか JIHS の目的の達成に必要な事業に使用する場合がございます。

② ☐ 国立看護大学校の業務に役立てるため

③ ☐ 上記にない診療科・医師名・研究室名・研究者名・研究テーマなどを寄附先として希望される場合は、以下に具体的な目的をご記入ください

[]

⇒③を選択された方へ

③で記載された内容が、研究目的の寄附の場合、成果及び使途の概要を報告書にして送付しております。

報告書の送付が不要の場合は下記にチェックをお願いします。

☐ 研究概要報告書の送付は不要です。

2. 寄附金品の名称、数量及び価格（金銭にあっては金額）

3. 寄附のご予定日 令和 年 月 日

4. 寄附の方法

5. 寄附者のご芳名の公表（校内掲示等） ☐ 可 ・ ☐ 否

6. その他（自由記載）

令和 年 月 日

郵便番号

住所

氏名

電話番号

（法人にあっては法人名、職名、氏名）

寄 附 の 申 込 み に つ い て

国立健康危機管理研究機構（JIHS）に寄附を行います。

1. 寄附金品の目的（チェック等をお願いします）

① ☐ 機構全体の業務に役立てるため

以下の目的に沿って頂戴した寄附金を使用いたします。

- ・新興再興感染症、災害等の健康危機に対する整備・公衆衛生機能強化等への支援
- ・先進的な医療・研究への支援（治療法・治療薬開発等）
- ・国内外を問わない人材育成・教育等への支援

※上記のほか JIHS の目的の達成に必要な事業に使用する場合がございます。

② ☐ 国立感染症研究所の業務に役立てるため

③ ☐ 上記にない診療科・医師名・研究室名・研究者名・研究テーマなどを寄附先として希望される場合は、以下に具体的な目的をご記入ください

[]

⇒③を選択された方へ

③で記載された内容が、研究目的の寄附の場合、成果及び使途の概要を報告書にして送付しております。

報告書の送付が不要の場合は下記にチェックをお願いします。

☐ 研究概要報告書の送付は不要です。

2. 寄附金品の名称、数量及び価格（金銭にあっては金額）

3. 寄附のご予定日 令和 年 月 日

4. 寄附の方法

5. 寄附者のご芳名の公表（校内掲示等） ☐ 可 ・ ☐ 否

6. その他（自由記載）

令和 年 月 日

郵便番号

住所

氏名

電話番号

（法人にあっては法人名、職名、氏名）

寄 附 の 申 込 み に つ い て

国立健康危機管理研究機構（JIHS）に寄附を行います。

1. 寄附金品の目的（チェック等をお願いします）

① ☐ 機構全体の業務に役立てるため

以下の目的に沿って頂戴した寄附金を使用いたします。

- ・新興再興感染症、災害等の健康危機に対する整備・公衆衛生機能強化等への支援
- ・先進的な医療・研究への支援（治療法・治療薬開発等）
- ・国内外を問わない人材育成・教育等への支援

※上記のほか JIHS の目的の達成に必要な事業に使用する場合がございます。

② ☐ DMAT 事務局の業務に役立てるため

③ ☐ 上記にない診療科・医師名・研究室名・研究者名・研究テーマなどを寄附先として希望される場合は、以下に具体的な目的をご記入ください

[]

⇒③を選択された方へ

③で記載された内容が、研究目的の寄附の場合、成果及び使途の概要を報告書にして送付しております。

報告書の送付が不要の場合は下記にチェックをお願いします。

☐ 研究概要報告書の送付は不要です。

2. 寄附金品の名称、数量及び価格（金銭にあっては金額）

3. 寄附のご予定日 令和 年 月 日

4. 寄附の方法

5. 寄附者のご芳名の公表（校内掲示等） ☐ 可 ・ ☐ 否

6. その他（自由記載）

様式2
文書番号
令和 年 月 日

(寄附者 氏名) 殿

国立健康危機管理研究機構
理事長 ○ ○ ○ ○ 印

寄 附 辞 退 書

時下、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

令和 年 月 日貴殿より当機構に対し、ご寄附のお申し出を賜りましたことに深く感謝いたします。

さて、貴殿からお申し出を賜りましたご寄附につきましては、貴殿のご厚意に対し甚だ恐縮ではございますが、謹んでご辞退申し上げますので、何卒ご了承賜りますようお願い申し上げます。

寄 附 金 領 収 書

殿

寄附金額 円

上記のとおり寄附金を受領しました。

令和 年 月 日

国立健康危機管理研究機構
理事長 ○ ○ ○ ○ 印

上記の金額は、所得税法第78条第2項第3号及び法人税法第37条第4項に基づく寄附金に該当するものです。

- (注) 1. この寄付金は、所得税法上の寄付金控除の対象となる特定寄付金又は法人税法上の特別損金算入限度額の範囲内上の特別損金算入限度額の範囲内（ただし、公益法人等は一般の限度額の範囲内）で損金算入が認められる寄付金です。
2. 上記の措置を受けるために、確定申告に際してこの領収書が必要となりますので、相当期間大切に保管してください。
3. この領収書の個人情報については寄付者の個人住民税等の賦課徴収に関する事務をスムーズに行うため、税務署及び各自治体より照会があった場合、提供を行います。個人情報の提供について同意されない方は、提供いたしませんので、お申し出下さい。なお各種法令に基づいて照会がある場合はこの限りではありません。あらかじめご了承ください。

様式3-2
令和 年 月 日

(寄附者 氏名) 殿

国立健康危機管理研究機構
理事長 ○ ○ ○ ○ 印

寄 附 受 領 書

この度はご寄附を賜り、誠にありがとうございました。

令和 年 月 日下記のとおり受領いたしましたことをここに証します。

記

(寄附物品等の名称、数量及び価額)

寄 附 金 別 金 銭 受 払 簿

会計年度：

寄附金の目的：

(単位：円)

転記日附	伝票番号	摘 要	取 引 先	予 算 額	執行額 (概算)	執行額 (確定)	差引残高 (概算)	差引残高 (確定)
		(月分計) (累 計)						

様式5
令和 年 月 日

寄附者氏名 ○ ○ ○ ○ 殿

職 員

職氏名 ○ ○ ○ ○ 印

寄附金使途・目的変更同意依頼書

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、早速ですが今般、貴殿から頂戴した寄附金の使途・目的を下記のとおり変更いたしたく、ご同意くださるようお願いします。

なお、同意のうえは本文下部の、寄附金使途・目的変更同意確認欄に記名押印のうえ1部をご返送願います。

記

当初の寄附金の目的	
変更しようとする 使 途 ・ 目 的 金 額	
寄附金が使途に 沿って使用でき なくなった理由	
その他参考となる 事 項	

【 寄附金使途・目的変更同意確認 】

上記の寄附金の使途・目的変更について、同意することを確認します。

令和 年 月 日

氏名 ○ ○ ○ ○ 印

様式6
令和 年 月 日

国立健康危機管理研究機構理事長 殿

職 員
職氏名 ○ ○ ○ ○ 印

寄附金使途・目的変更承認申請書

下記の通り、寄附金の使途・目的の変更を承認くださるよう申請します。

記

寄附金の使途・目的	
変更しようとする 使 途 ・ 目 的 金 額	
寄 附 金 が 使 途 に 沿 っ て 使 用 で き な く な っ た 理 由	
その他参考となる 事 項	

寄附者氏名 ○ ○ ○ ○ 殿

職 員
職氏名 ○ ○ ○ ○ 印

研 究 結 果 概 要 報 告 書

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
さて、早速ですが、貴殿より頂戴した寄附金により行っておりました研究が、この度終了いたしました。
つきましては、研究成果等の概要を下記のとおりご報告いたします。

記

寄附金の使途・目的	
研究成果等の概要	
寄附金の使途の概要	<div>機械器具等購入費 千円</div> <div>研究補助員雇用経費 千円</div> <div>消耗品購入費 千円</div> <div>特許出願費用 千円</div> <div>会議費 千円</div> <div>一般管理費 千円</div> <div>計 千円</div>